

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	31-2																																							
PDCA	主要事業名	文化芸術普及推進事業	部課名	教育部生涯学習課	担当 内線	赤坂 23-7341																																								
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 2 - 2 単位施策： 文化の振興と伝承 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 5,516 千円 会計 一般会計 歳出科目： 09.05.01.05.51																																													
	事業概要等	事業概要： 市民が文化芸術に対する興味を持つきっかけをつくったり、親しみをより深めてもらったりすることを目的に、まちなかや身近な場所で文化や芸術に触れ体験や鑑賞ができる事業を実施する。またそういった文化芸術に関する情報を確実に届ける仕組みを構築する。																																												
		事業目的： 文化による多様な価値観の形成や地域の包括的環境の推進による文化芸術の社会的価値の醸成を図る。																																												
		事業内容： まちなかでアート、半田市美術展、親子向け観劇会等各種公演、文化活動全国大会等出場激励金支給、半田市文化協会事業費補助																																												
		問題点・課題等： 長期的に事業を継続しなければ効果ははかりにくい事業ではあるが、事業を継続するとともにその効果を把握するよう努める必要がある。																																												
	予算額	主要事業とする理由																																												
	5,516 千円	市民が文化芸術に触れ親しめる機会を提供することを通じて、心豊かな市民生活と活力ある地域社会の実現を目指すため。																																												
	財源内訳	得られる成果																																												
	市費 4,067 千円	人々の創造性を育み表現力を高め、多様性を受け入れて相互に理解し尊重しあうといった心豊かな地域社会が実現する。																																												
	国費 200 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">鑑賞・体験事業の満足度</td> <td>実績値</td> <td></td> <td>93.7</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td>85.0</td> <td>85.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	鑑賞・体験事業の満足度	実績値		93.7	—	%	目標値		85.0	85.0	%		実績値					目標値					その他	実績値					目標値				
	目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位																																								
	鑑賞・体験事業の満足度	実績値		93.7	—	%																																								
		目標値		85.0	85.0	%																																								
		実績値																																												
		目標値																																												
その他	実績値																																													
	目標値																																													
県費 0 千円																																														
その他 1,249 千円																																														
D 実績値 得られた成果と	決算額	得られた成果																																												
	4,646 千円	親子で参加できる公演事業の回数を増やしたり、各種事業において体験型ワークショップの要素を積極的に取り入れたりするなど、事業の充実化か実施方法の工夫を図ったが、満足度は対前年度、目標値ともに下回る結果となった。																																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th></th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">鑑賞・体験事業の満足度</td> <td>実績値</td> <td>84.7</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>85.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						成果指標		令和5年度	単位	鑑賞・体験事業の満足度	実績値	84.7	%	目標値	85.0	%																												
	成果指標		令和5年度	単位																																										
	鑑賞・体験事業の満足度	実績値	84.7	%																																										
目標値		85.0	%																																											
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 半田市文化芸術推進計画の基本目標「子どもの頃に多様な文化芸術に触れられるまち」づくりを進めることを目的に、親子で参加できる「親子向け観劇会」を新たに実施するなど鑑賞型の公演数を増やした。加えて、まちなかでアートを含めた各イベントにおいて体験型ワークショップの要素を積極的に取り入れると同時に、生涯学習課独自のSNSを立ち上げるなどイベント情報等の発信にも力を入れ、対象となる層に情報が行き届くような工夫も積極的に行った。過年度のアンケート等から公演数の増や体験型事業を増やしたものの、成果指標の面で、満足度は対前年度比で10%弱数値を落としていることから、改めて参加者のニーズにあった実施内容かどうかを検証し、見直しを図る必要がある。																																												
A 課題の解決方向性に向けた	今後の事業の方向性	改善推進 「子どもの頃から多様な文化芸術に触れられる」機会のさらなる充実を図るため、新たに実施した「親子向け観劇会」を始め親子で参加できるイベントを、ニーズにあったテーマや内容のもので企画し実施していく。また、こうした視点に加えて、「誰でも」「いつでも」「どこでも」気軽に文化芸術事業に触れられるよう、市内の音楽関係者等と連携を図りながら、‘まちなか’での事業実施に力点を置いた施策展開を継続していく。																																												
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																								
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 減余地	ない																																									
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	※対象・手段の変更																																										
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地	ない																																									

目標項目（予算計上時に作成）
予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）
主要施策の成果報告書で活用